資料 10

桃井第一小学校改築検討アンケート調査結果（桃一まつり）

■概要

・桃井第一小学校改築検討の参考とするため、桃一まつり（日時：令和 8 年 10 月 17 日（土）13 時 00 分～15 時 00 分、会場：桃井第一小学校）にてアンケート調査を実施。
・調査期間：令和 8 年 10 月 17 日（土）～令和 8 年 10 月 22 日（木）
・配布数：160 名
・回答数：　9 件
（内訳：直接提出 0 件、郵送提出 0 件、Web 回答 9 件）

Ｑ１．あなた（アンケート回答者）について、お聞かせください。 ※以下のうち、あてはまるものを一つ、〇で囲んでください。	
①在校生（桃一小）	２件
②保護者（桃一小）	４件
③近隣住民	３件
④その他	０件
計	９件

Ｑ２．桃井第一小学校の良さや魅力、特徴について、お聞かせください。 ※現在の桃井第一小学校について、「大切にしたい」と感じている良さや特徴を記載ください。
生徒を中心として学校と地域が協力していること。結果として近隣の中学校や学童、町内会が一丸となった桃一まつりが開かれているのだと思います。
芝生があるところ。まつりを近隣住民にも開放しているところ。
伝統と歴史、教職員並びに関係各位のご尽力によって、なんとか健全に運営できている学校、という印象が非常に強いです 入学後は冒頭述べたように、皆様のご尽力のおかげで、親の心配をよそに、全面的にとはいかないまでも、健やかに成育していただいています。それについては感謝しかありません 以上のような印象をもって、歴史や伝統、皆様の努力こそが、他者に胸を張れる魅力であると思います
歴史があり、古くからある青梅街道に面していること。長いあいだ、人々が心地よく暮らす桃井の地を見守ってきたこと。地域の人も集まりやすい場所にあり、憩いの場となること。
伝統　上荻地域と桃井地域の地域性の違い　昔ながらの少年野球部の活動

区立小学校の中では使いやすい広い校庭　校庭に芝生があるエリアがある 学童クラブが校舎と独立して校庭にある　ほとんどの児童が井荻中学校に通う事ができる（旧若杉小学校学区域の児童以外）かなり前の卒業制作の作品が残っている　区立小学校の中では広い体育館
学区域の治安の良さ　親子数代における卒業生の多さ
落ち着いた環境でじっくりと勉強できる
歴史や伝統は大切にしながらも新しいことに挑戦出来る学校にして欲しい
たくさん生徒がいて活気がある 校庭も校内も広くてのびのび過ごせる

Ｑ３．桃井第一小学校の改築への期待について、お聞かせください。 ※改築後の学校に求める機能や環境、実現してほしいことがあれば、記載ください。
安全面、特に防災や防犯。子どもたちが過ごしやすい居場所になること。
バリアフリー。冷暖房効率の良さ。
改築後は、近年世界的に導入が進められている学校警察の詰め所を数箇所設置していただきたいです また、欧米など教育に盛んな国の動向を鑑みるに、暴力的な児童を隔離する設備も、近い将来においては必須になってくると思いますので、ぜひご検討ください
これからの子供たちが生活しやすく、新しい学びを得られる可能性を高められるような環境。先生がたも快適に授業に臨めるような環境。
区内最大級の公共施設として改築後最低限 50 年以上見据えた施設づくりを検討して欲しい　学校本来の役割を再度確認（やるべき事　やりたい事　すぐにできる事　やりたいが問題がある事）し区民にわかりやすく説明して欲しい　関連所管との連携強化
防犯機能強化　冷暖房機能強化　地域との連携強化による職員の業務負担軽減
校庭の一区画に地域の方々が自由にお散歩できるゾーンがある
地域も連携を強化して、地域の中の居場所、サードプレイスのような場になると良い
改築中も普段通り過ごせるように希望します。 防犯面を強化してほしい

Ｑ４．別紙「改築基本方針たたき台」について、ご意見をお聞かせください。 **※現在、「改築基本方針たたき台」（別紙「桃一小改築検討アンケート調査ご協力のお願い」の裏面）をもとに検討を進めています。基本方針の内容について、特に重要だと思う項目、充実させるべき項目等がありましたら、記載ください。**
目標ｖ安全、安心で居心地の良い生活空間。
目標ｖ
将来のある児童の教育施設であるという基本的な方針が弱く、その他事項の充実度合いが大変強いように感じます 学校という設備はさまざまな観点から地域にとって必要不可欠である、という従来的な方針であるならば、最低限のみの改築にしておいた方が良いのではないかと思います
【目標Ⅰ】現代の児童の身体にあわせた机椅子等の検討　タブレット授業により対応できる机の検討　屋内プール整備やプール廃止に向けての更なる検討　校庭の人工芝化や天然芝化について検討 【目標Ⅱ】将来的な児童数減少による小学校統合にも柔軟に対応出来る諸室の検討　ユニバーサルデザインだけではなく多文化共生も意識した校舎を検討 【目標Ⅲ】複数担任制のメリットデメリットを区民にわかりやすく説明し改めて今後の杉並区の方向性を提示して欲しい　教職員のグレーな勤務の廃止の徹底（地域行事への挨拶のみの参加　地域イベントへの参加等） 【目標Ⅳ】壁面緑化や屋上緑化を検討　みどりの基本方針を踏まえた緑の拡大　桃一ならではのグリーンインフラの継続 【目標Ⅴ】通学路を含めた防犯カメラ増設等の検討　学童クラブ及び放課後等居場所事業の諸室については要検討でお願いします（別の部会が必要）私立等の小学生が遊びに来れるような放課後等居場所事業にして下さい　私立等の小学生も学校帰りに問題なくおやつ等がもらえるよう検討お願いします 【目標Ⅵ】学びのプラットフォームの本格的導入は可能なのか知りたい　図書室体育館多目的室家庭科室等の地域開放が出来るように検討（公共施設の有効活用）他自治体の参考事例を数多く区民に提示してメリットデメリットをわかりやすく説明して欲しい　杉並区第十小学校や西宮中学校の例を参考にしてアップデートした素案を作成希望 【目標Ⅶ】はらっぱ公園と連携強化した施設を検討　震災時に迅速に対応出来る校門体育館備蓄倉庫等の整備　本格的に活用出来る防災井戸の整備
ビジョン３
良いと思う

取組Ｃ　取組Ｊ

Ｑ５．その他、ご意見等がありましたら、お聞かせください。 ※桃井第一小学校の改築について、上記のＱ２～４以外にご意見等がありましたら、記載ください。
学区域を変更して生徒数を分散させることはできないのか？近隣の桃井第三小学校は２クラスしかなく毎年のクラス替えで変わり映えしないという話しを聞いて、桃一小の生徒を分散させると丁度良いのではないかと思った。
誰にとって居心地がいいのか、どんな人がいて、どのように働くのか、といった、ミクロな観点がごっそりと抜け落ちた叩き台だな、という印象です マクロ的な視座からのみ語られた学校が連綿と紡いできた日本の学校教育方針が既に瓦解に近い状態に陥っているのは明らかです 教育制度そのものを桃一から変えていくべきだ！とは言いませんが、学校にいるこどもたち、学校で働く人、その人々がどのような人であることが望ましく、どのような人に育ってほしいのか、といった、ミクロ的、学校というスキームのホロンが悪魔的機能を有しないように最大限の配慮を行うことができる、千載一遇の契機と捉えて、ただそこにある人そのものに、もっと目を配る必要がある、というように感じました
杉並区教職員組合及び東京都杉並区諸団体事務所の移転改築も検討して下さい（イマジナス跡地に移転できるのでは） 区役所移転改築案の検討の中にはらっぱ公園への区役所移転も含まれいるのでその事も意識した改築案を検討して下さい（はらっぱ公園がなくなり区役所が移転した際の震災救援所の収用人数を含めた運用方法） 校内学童クラブ及び放課後等居場所のあり方について検討して下さい（他自治体のように教育委員会が所管した方が良いのはないか） 設計までのスケジュールが早すぎないか（杉並区第一小学校にくらべて充分に区民の声が聞き取れるとは思えない） 施設整備に掛かる予算が物価高によって当初予算を大幅にに超えるので一日でも早く設計を初めて欲しい 教育委員会として放課後等居場所や校内学童クラブへの移転に対して所管として本当に賛成しているのか知りたい（今までいくつかの学校改築懇談会を傍聴してきたがそもそも懇談会参加メンバーの関心があまり高くないと認識） 施設マネジメント課と連携強化して欲しい（今後今川保育園今川児童館及びゆうゆう桃井館等の園舎や代替地の候補地に出来るような施設を検討）
【暑さ対策】保育園のようにタープを活用　校舎の向き（日陰をあえて多く取る）第二体育館等の整備の検討

【放課後長期休暇時の対応】学童クラブがある時は必ず放課後等居場所も実施する　児童の学習スペース新たに確保する（学びのプラットフォームの本格的導入実施）
工事期間中の詳細、例えば仮校舎がどのようなモノがいつ出来てなどが不明なので明確にして欲しい そして，何より不便や不利益を被るのはその時に在学している児童になるので，その児童に不足なく学校生活が送れるような環境を整備すること，これを第一に考えて欲しい。 日々の学校生活や勉強はもちろん、運動会、桃一祭などもちゃんと実施出来るような環境整備をお願いしたい。 不利益を被ってるのだから通常時以上のメリットを享受出来るようなやり方を考えて欲しいです。
コロナがあけて 久しぶりに全学年で運動会ができました。 広い校庭で駆け回る経験は小学生にしかできない事だと思うのでその環境を維持してほしい。遊具ももう少し充実してほしい。